

(報道発表資料)



2025年9月18日

国立大学法人山形大学

NTT東日本株式会社 山形支店

「デジタルイノベーションに関する連携協定」に基づいた山形大学初となる

単位取得型インターンシップを実施

国立大学法人山形大学（学長：玉手英利、以下「山形大学」）とNTT東日本株式会社 山形支店（支店長：小澤一仁、以下「NTT東日本」）は、令和6年11月7日付けで締結した「東日本電信電話株式会社と国立大学法人山形大学とのデジタルイノベーションに関する連携協定書」に基づき、「地域密着型の業務経験や社員交流を通じて、地域に必要とされる仕事力や素養について理解を深めること」を目的としたインターンシップを実施しました。

1. インターンシップ受入れに至った背景

山形大学は、2025年4月に大学院理工学研究科数理情報システム専攻を設置し、情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識を修得し、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題の解決をリードする高度情報専門人材を養成することとしています。

NTT 東日本では、光回線サービスを中心とするネットワークサービスの提供に加え、AI や IoT といったデジタル技術を活用した地域課題の解決に取り組んでおり、更には、「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」として、地方創生や新たな価値創造などにもチャレンジしています。

そこで、令和6年11月7日に社会課題と結びついた実践的な教育研究の実施体制を構築するためデジタルイノベーションに関する連携協定を締結し今回のインターンシップの実施に至りました。

2. インターンシップの概要

内容
2025年9月1日（月）～2025年9月12日（金） 9:30～17:30
山形大学大学院理工学研究科数理情報システム専攻1年次 2名
山形県内の地域課題を踏まえた DX、AI での解決策立案実習 ・先進事例紹介（仙台スマートイノベーション Lab の見学）・ペルソナを想定したデザイン思考ワークショップ ・山形県内の地域課題を踏まえた DX での解決策立案 ・データ利活用からの課題抽出／政策立案 等

3. インターンシップの様様

本インターンシップは、山形県内の地域課題を対象に、データ分析やデザイン思考、生成 AI の活用を通じて課題解決策を立案する実践型プログラムです。

地域課題の解決を目指し、長井市へ訪問して現状の課題に対する意見交換会を行い、現状の課題分析及びヒアリングした内容等検討を重ね、成果としてワーケーションの来訪者増やサービス向上を目指したアプリ「AI コンシェルジュ」を考案しワーケーションの充実に向けた取組みとして長井市へ提案書を提示しました。

最終日には N T T 東日本山形支店本町ビル内にて報告会を行い、9 月 1 日～12 日のインターンシップの振り返りを行うことで、地域のデジタルイノベーションを担う人材育成の成果を確認しました。

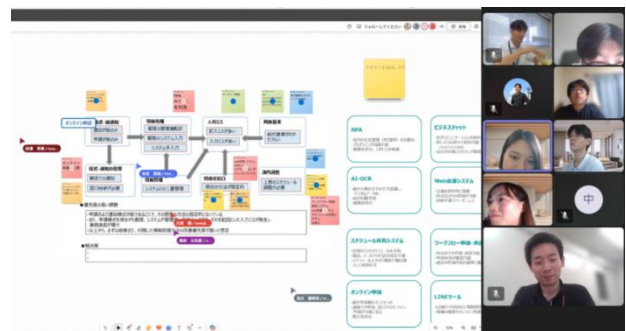
参加した学生からはインターンシップ期間を振り返り今後のビジョンについて「プレゼン力や課題解決の考え方について多くの学びがあり、今後は研究や実践の場で活かし、より説得力のある伝え方と主体的な課題改善に取り組んでいきたい」「様々な思考法を学び、本質的な課題をみつける力を養い、ユーザー視点でのアイデア創出に挑戦できた。インターンで学んだ課題解決の考え方を活かして今後も研究に取り組んでいきたい」等のコメントがありました。

山形大学大学院 理工学研究科 数理情報システム専攻 齊藤専攻長、企画戦略室 内藤室長より「地域のこについて、これからどのように学んでいけばいいか。そのようなことを学んでもらうことに重点をおいた高度情報インターンシップとしてしっかりと取り組んでいただいた」「普段の授業では得られないような学びが成長に繋がっており、良い経験になったのだと感じている」と学生へ伝えていました。

今後も本インターンシップの成果を踏まえ、地域社会に貢献する DX 人材の育成に一層努めてまいります。

【インターンシップ模様（抜粋）】

・現状分析／課題解決手法の学習



・提案書作成



・最終報告会



5. 本件に関するお問い合わせ先

NTT東日本株式会社 山形支店 広報担当

TEL 023-621-9521（平日9：00-17：30）

e-mail yama-kouhou@east.ntt.co.jp

国立大学法人山形大学 企画・戦略室長 内藤

TEL 023-628-4190（平日8:30-17:00）

e-mail yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp